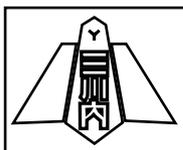


学校だより

# あったか三川内



令和3年 12月24日  
佐世保市立三川内小学校  
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」  
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、  
心豊かで元気のある子どもを育成する。

後期前半終了！ ～ご理解・ご協力ありがとうございました～

10月12日（火）後期始業式から今日まで74日間。この間、「やる気」「勇気」「元気」を出して頑張る子どもたちの輝く笑顔と躍動感あふれる姿を、数多く目にすることができました。日々の学習はもちろんのこと、各学年の行事や取組も、一生懸命頑張りました。

1・2年生は、お家の人と一緒に芋ほりをしました。おいしいお芋がたくさん収穫できました。三川内っ子ふれあいタイムでは、地域の方々と昔遊びをしました。竹とんぼや竹馬、はま投げ、あやとりなど、遊び方を教えてもらいながら楽しく活動できました。3年生は、クラブ活動見学をしました。楽しいクラブがいっぱいあり、みんなニコニコ顔でした。三川内っ子ふれあいタイムでは、小森川の生き物調べの発表内容を全部覚え、元気な声で発表できました。4年生は、ふるさと体験学習やイングリッシュキャンプなど、佐世保の豊かな自然を体験したり、外国の講師の方と触れ合ったりしながら国際感覚を養いました。また、平和学習では、長崎原爆に関する話を聞いて、戦争の恐ろしさや平和の尊さを学びました。5年生は、育ててきたお米の収穫や三川内っ子ふれあいタイムでのご飯と豚汁づくりを親子でしました。お米を始め、農産物を作る人たちの工夫や努力を学びました。また、エコモビ体験学習を通して、CO2排出を削減し、豊かな環境を作っていくには、どのようなことをすればよいかを学びました。6年生は、1泊2日の修学旅行を通して、最高の思い出づくりと長崎の自然や世界遺産を体感しました。前期から続けてきた「長縄チャレンジ」も3分間300回を越え、佐世保市で暫定1位の成績を残し、仲間との絆と継続することの大切さを学びました。卒業や進学に向けての意識も高まってきている6年生。これからの成長が楽しみです。

全校でも、学力向上に向けた研究授業を実施し、図書委員会が中心となって読書集会や読書月間の取組を考え、多くの子どもたちが読書に親しみました。また、第3回漢字検定にもチャレンジし、花いっぱい運動では縦割り班の高学年が中心となり、みんなで力を合わせて花の植替えをしました。人権集会では、人権を守ることの大切さを学び、差別やいじめのない楽しい学校を創ろうと誓いあいました。さらに、三川内小の大きな行事の一つである三川内っ子ふれあいタイムも、保護者や地域の方々のご協力により無事に実施することができました。本当にありがとうございました。保護者の皆様のおかげで、子どもたちは充実した後期前半を終えることができました。

明日からは、年末・年始を挟んだ冬休みが始まります。年末に向けて慌ただしい日が続くと思いますが、病気や事故に気を付けて過ごさせてください。また、新型コロナウイルス感染も今は少し落ち着いていますが、これからも油断は禁物です。手洗い・うがい・消毒、マスク着用など、普段からの習慣化をよろしくお願いします。さらに、スマートフォンやパソコンなどの通信機器によるSNS上のトラブルなども起こる可能性がありますので、使用を控えるか、または使用する場合は保護者の監視及び指導のもとに行わせてください。冬休みは、年末の大掃除やお正月の準備、年始の挨拶など普段の生活では体験できないことがありますので、家族で話し合われて家族の一員としての仕事や手伝いもさせてください。来年1月11日の後期後半開始日には、子どもたちが元気な姿で登校してくることを楽しみにしています。

